

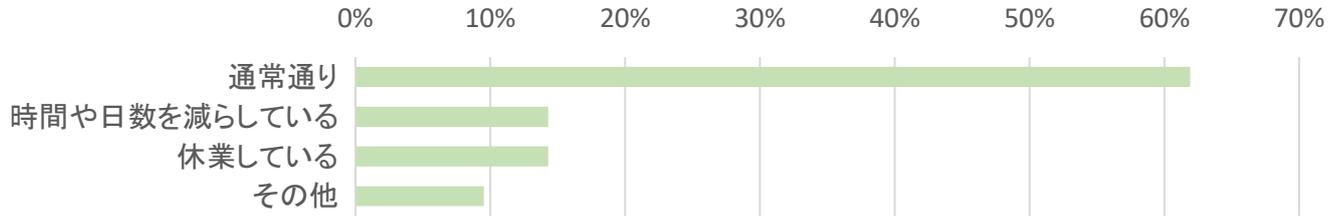
新型コロナウイルス感染症による業務への影響について

(デイサービス/デイケア)

■調査日: 令和2年5月上旬

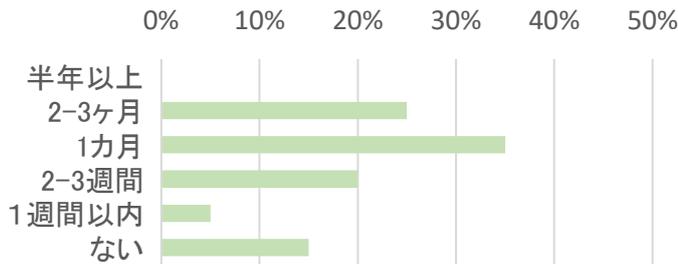
■回答数:
旭区内のデイサービス/デイケア
に勤める職員 20名

通常通りの業務ができていますか

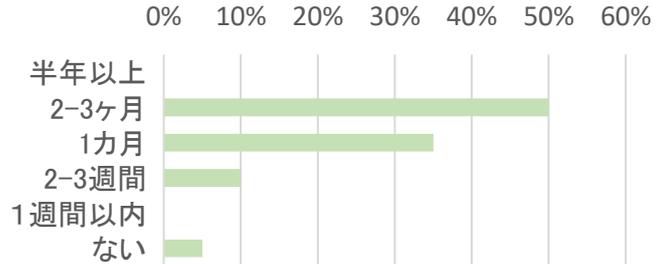


・ご利用者様の制限をしている(他のデイ利用の方)

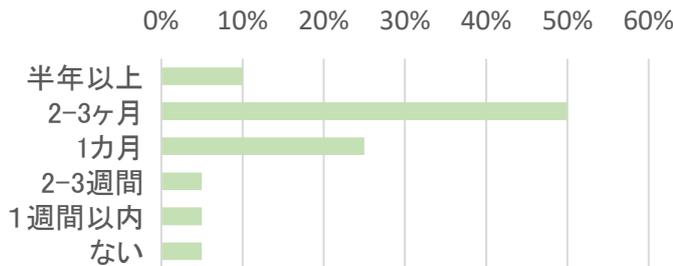
マスクの保有状況(残り)



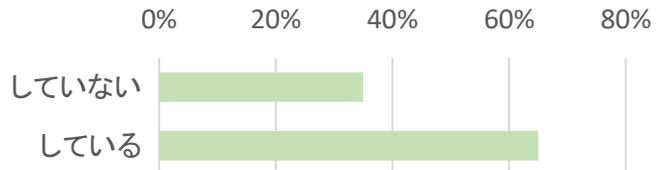
手指消毒用アルコール保有状況(残り)



介護用手袋の保有状況(残り)



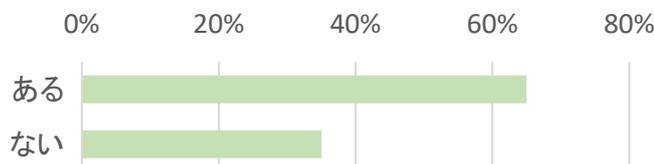
マスクを洗浄・消毒するなどして再利用



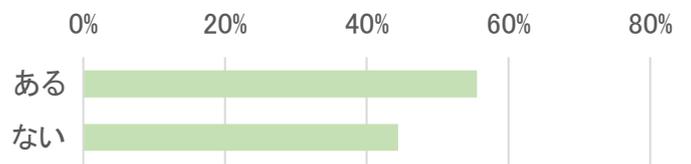
- ・手作りマスクで対応している。皆で作りました
- ・各自で対応
- ・手作りマスクで代替
 - ・一部職員の手作り
- ・ネット注文を試みています

2月以降、国・自治体・団体等から「マスク」の提供や寄付を受けたことがありますか

(マスク)



(消毒液)



(マスク)

・厚労省/国からマスク20~40枚(3-4月)

・国と医師会からそれぞれマスク25/50枚

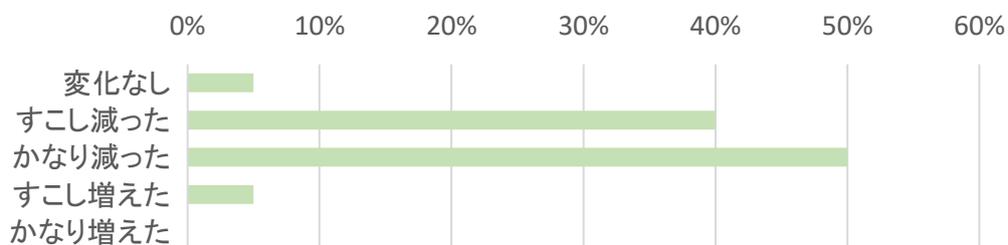
(消毒液)

・福祉局から10本

・市から10L(3月頃)

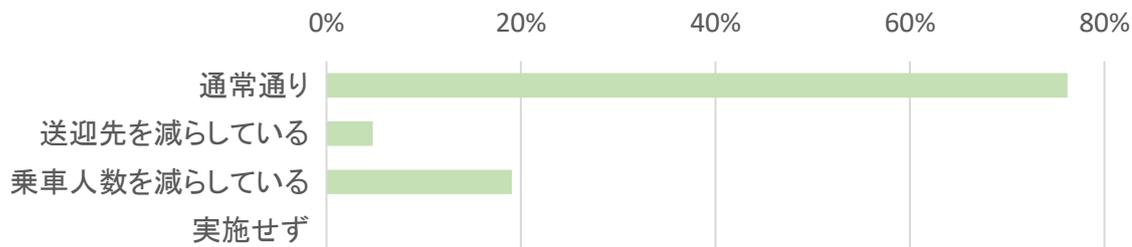
・寄付者から10L

新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数に変化がありましたか



- ・特にご家族様が、感染の可能性を懸念されている為
- ・ご家族からの利用中断(予防のため)の意向が多い。利用者本人の判断もある

送迎についてはどのように対応されていますか。感染防止についてなにか対策をされていますか。

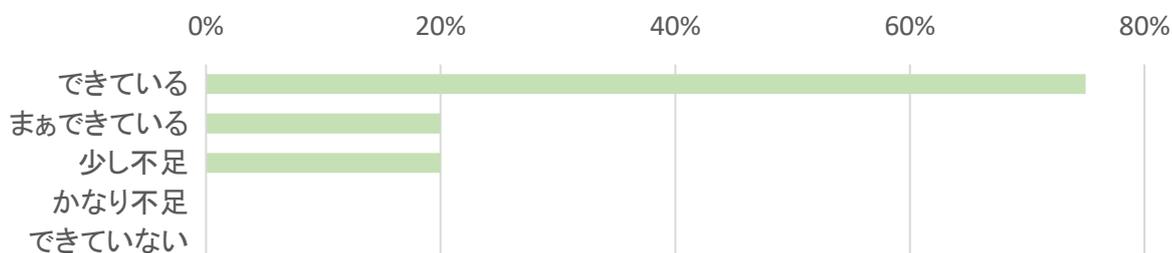


- ・乗車前に体温測定、マスク着用、手指消毒
- ・朝の送迎後、夕刻の送迎後の車内アルコール消毒
- ・便を増やして少人数で送迎実施
- ・ドライバーがフェイスガード
- ・来所前の利用者のアルコール消毒とマスク着用を必須(ない場合は手作り対応)
- ・検温とマスク着用の徹底、送迎車内の消毒徹底
- ・外気によるエアコンを継続させながら常時窓も開放
- ・微酸性電解水による消毒(乗車前に利用者の全身に噴霧、手指消毒、送迎後の車内外の噴霧消毒)

ご利用者に、新型コロナウイルス感染(感染の疑い)がおられる場合、どのように対応されていますか おられる場合は現在の対応方法を、現在おられない場合は、今後の対応方法をお答えください

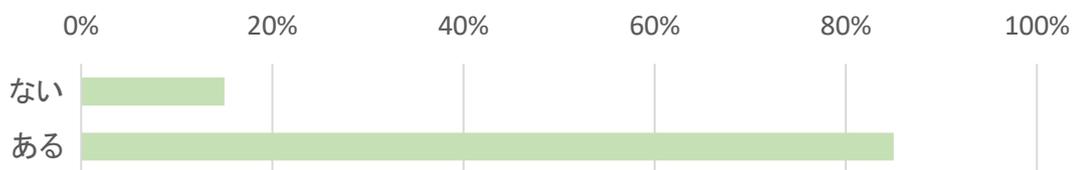
- (感染疑い) ・37.5℃以上の熱や咳痰が頻繁に出る方は自宅対応頂く
- ・検温で熱がある場合は自宅待機又は帰宅してもらい、4日間熱が下がらない場合は主治医に相談
 - ・デイをお休み頂き、その他の利用者やスタッフは健康観察行いながらデイ継続
 - ・主治医に相談し、レントゲンを撮ってもらった。
 - ・上長へ報告の上、営業含む対応判断を依頼
 - ・保健所に相談
- (感染) ・厚労省の通知、保健所の指示に沿って対応
- ・利用中止させて頂く、再利用の場合は、保健所に確認した上で判断
 - ・当面デイの営業中止
 - ・介護は基本的に濃厚接触になりうる。一時閉鎖するしかないのか、方法は模索中

現在の時点で、職員の人員確保ができていますか？

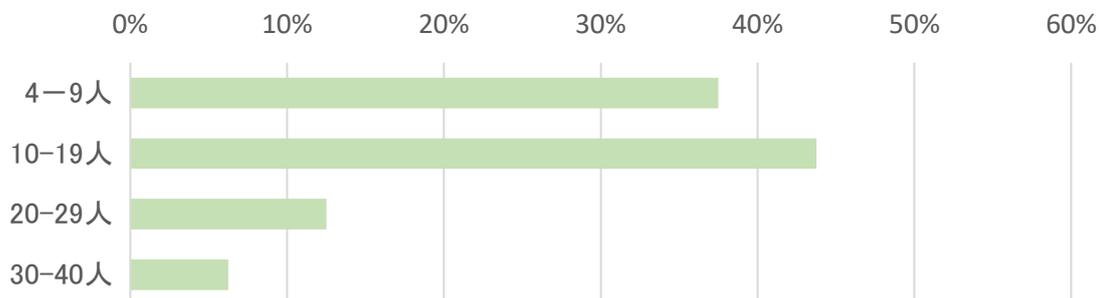


- ・介護職の使命感で頑張っている
- ・一定数の正社員がいる
- ・利用者減により、余裕ができた。
- ・出来ているものの、お子様等の問題で、シフトも不安定となっているのが現状

新型コロナウイルスに感染したくないという理由で、利用を中止している利用者がおられますか



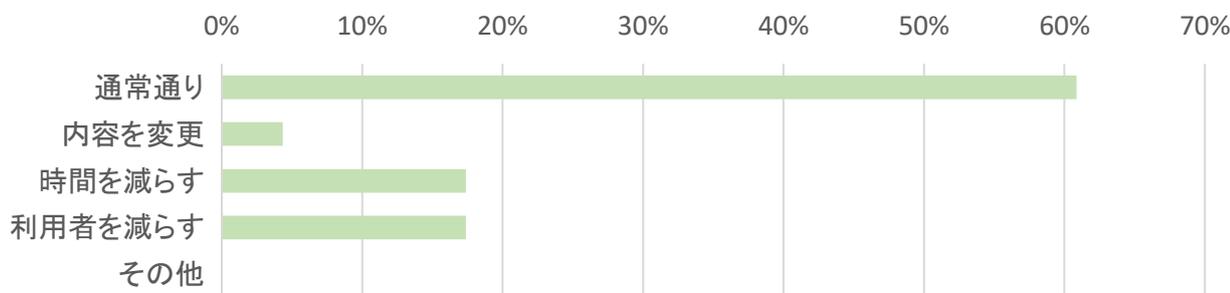
上記に、「ある」の場合、中止されている人数



デイサービスの3密(密集・密接・密閉)への対策はどのようにされていますか

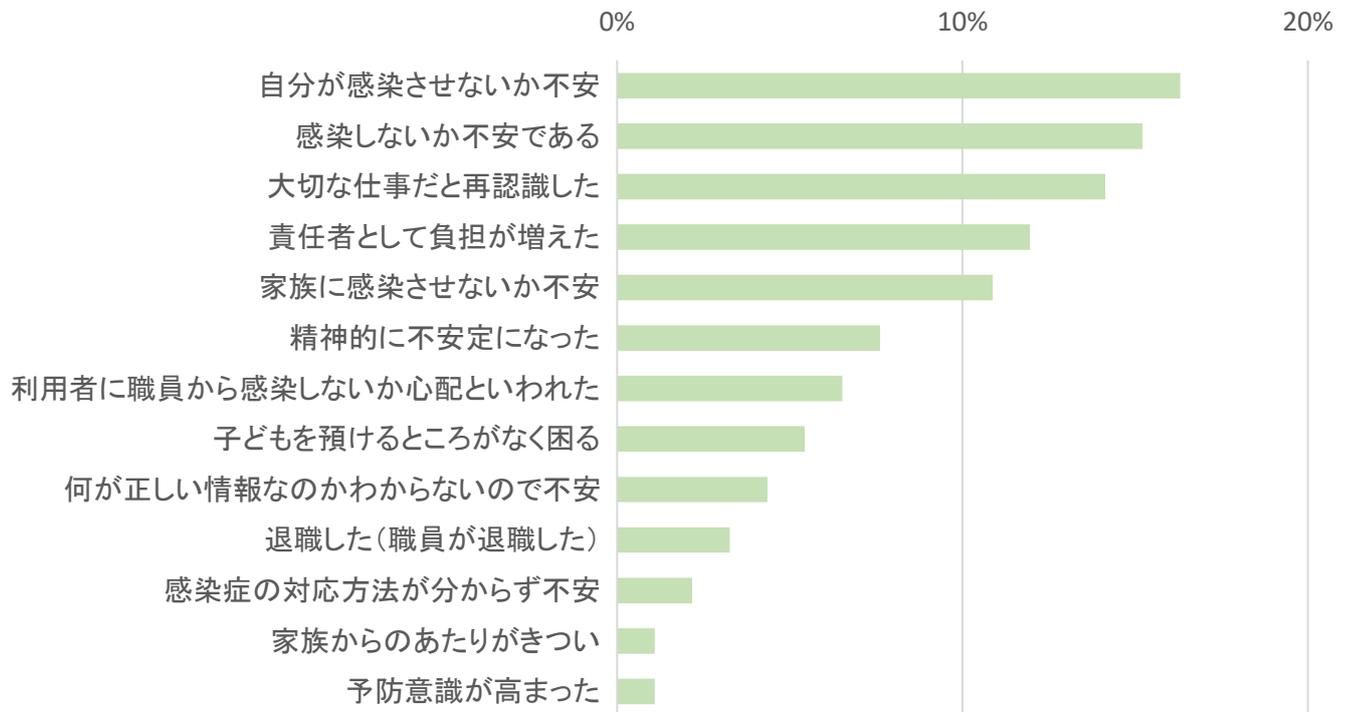
- ・1日の利用人数が10名以上になると、間隔をあけて座ることが難しい。テーブル配置を変えたりして工夫はしているが、密集・密着状態に変わりない。
- ・机の間隔をあける。対面の間にビニールシート。集団運動レクの中止。
- ・スタッフの食事は2人でとらない。
- ・利用者人数を調整し、間隔をあける。
- ・1時間毎の換気、デイ内のアルコール消毒(朝・昼・晩)、細かく手洗いと手指消毒
- ・利用者の席位置を広くとり、マスク着用の声かけ
- ・常時窓開放(エアコン継続)、出来るだけ真正面にならないよう配慮
- ・必ず窓を開けてリハビリ実施。機器を1日1日消毒。マスクを患者さん・施術者ともに必ず着用させている

サービスの内容はこれまで通りに実施していますか？



- ・利用者様の人数を相談させて頂き、利用者数を半分以下に
- ・イベント、教室、ボランティアの来訪中止
- ・利用者様の利用制限(他のデイ利用者は利用の一時中止)
- ・自宅で過ごせる方は利用を自粛され、自宅対応無理な方の入浴 食事を提供し、密にならないで過ごせる様配慮
- ・週3日以上利用 → 週1-2日に一時的に変更して頂く

新型コロナウイルス感染症をきっかけとした、気持ちや環境の変化がありましたか。(複数選択可)



現在、業務で困っていること、その他意見がありましたら何でもお書きください

(3密対策が困難)

- ・入浴介助など、マスク着用も困難(入浴介助は約3時間は風呂場に入ったまま)
- ・食事介助時に、咳やムセたりして利用者からの飛沫を受ける瞬間がある
- ・利用者が増えると間隔を開けて座ることが難しい。テーブル配置を変えて工夫しているが、密集・密着に変わりない

(利用者 マスク 着用)

- ・認知症の方にマスクを終日(6-7時間)し続けていただくことは困難。マスクを取る度に付けるよう伝えると不隠になったり、立腹されたり、徘徊が増えたり・・・
- ・呼吸器系に疾患を抱える利用者は、終日マスクして頂くのは困難。頑張らせて頂ける方もいますが、とても苦しそう
- ・マスク着用、手指消毒、利用前検温プリント配布し協力呼びかけるが、全員の方が対応して頂ける施設はほぼ皆無
- ・独居利用者はマスク購入に対し意識低く、マスク持参されないことが多い。施設側も配布する余力ない
- ・利用者が、他者がマスクをしていないと立腹、口論となりトラブルになるケースも

(感染への不安)

- ・現在、手指消毒液がない。2月頃から購入できていない！消毒液がないと、今後運営が出来なくなる。デイサービスは感染リスクが高いが閉鎖が出来ない(家族で介護できない方も多い)。職員の感染リスクも高い
- ・施設が休業しない為休みたくても休めない。感染リスク高い直接介護が主業務で、スタッフ利用者共に不安尽きない
- ・自分の身を守りたい、でも、利用者やご家族のために頑張りたい。そう思いながら勤めているが、不安の中での仕事が続く、気持ちが定まらず介護についていると「もし利用者がコロナだったら。。」なんて考えてしまうのが申し訳なくて・・・
- ・目に見えない感染との戦いで、密に接触する介護の負担は思ったより精神的に苦痛で疲労感が強い
- ・万が一、コロナ感染した場合に、会社がどれほどの保証や支援をしてもらえるのか明確に出してもらえない

(運営面の課題・不安)

- ・万が一施設で感染者が出た場合のリスク甚大、閉鎖倒産も視野に入れながらの営業。ハイリスク、ローリターン
- ・利用者や職員の体調不良が複数人出た時の対応や事業継続の判断などに不安がある
- ・旭区以外で自主的に休業されるデイがあり、そこで行き場を失った利用者を受け入れてほしいとの相談が増加
- ・コロナ対策という明目で、新規利用者の受け入れを拒否する施設が増えている傾向
- ・休業しているデイがある中で通常営業していることに対して、職員の安全と施設の維持についての職員への伝え方
- ・利用者が減少していること。その中でスタッフの勤務調整をお願いすることも申し訳なく感じる。利用者に感染させてはいけないプレッシャーもあり、またそれ以上にスタッフが感染してはいけないというプレッシャーもある
- ・自主的に休むスタッフが出ると、交代スタッフが不足し、ギリギリのシフトで業務を動かさなければならない
- ・コロナ対策としてペーパータオルや消毒液等、これまでの使用率が2倍以上となり、経費が大幅に上がっている
- ・利用自粛されている利用者はどの施設も1-2割。ただりハビリ型デイサービスでは3-5割の利用者減との報告

(介護業務への理解)

- ・メディアでこんなに医療現場の大変さが取上げられているのに、介護現場が取上げられる場面はクラスターが出た時ばかり・・・
- ・介護は基本「人と人」。密な状況を作らないことのほうが困難。そういった介護現場の実情が知られていないのが歯がゆいし、医療現場とは違う苦労と苦悩があることも知ってもらいたい
- ・コロナ感染が出た施設は目の敵にされるかのような報道。もし自施設で感染者が出たらと考えるだけで働くのが怖い

(利用者への思い)

- ・家族介護の弱い方、独居利用者など、施設休業してしまった場合にサポートする体制が迅速に出来ない
- ・他者との交流をなるべく避ける「3密」・・・果たしてデイサービスの本来の意味が果たされているのか、疑問を感じる
- ・ほぼ毎日のようにデイサービスにいていたのに、利用回数が激減し、家族の負担が増えている。家族の顔色をうかがうようになっている自分がある。辛い
- ・家族のストレス軽減の意味合いもあるデイサービスなのに、デイサービスでなにか起きないか、家族でなにか起きないか・・・と考える事ばかりで心労が重なる
- ・明るく利用者に振る舞い、心配を掛けないように働いているが、テレビや新聞の情報が余計に利用者の心の負担を煽っているように感じる

(連携への期待)

- ・どの介護スタッフも、非常勤で女性の割合が高い。そういう観点から同じ立場の方々と連携を取合える環境整備を
- ・緊急事態を前に、これまで築き上げてきた連携が分断されているのは残念。自分の「城」を守るのは最優先ではあるものの、このような状況のときこそ連携が必要。個々の事業所が孤立しないよう、医療・介護の連携のチーム作りが課題